

**神恵内村における文献調査報告書の説明会(神恵内村川白地区開催分)
開催結果**

1. 日 時：2024年12月6日（金）10時00分～12時00分
2. 場 所：川白ふれあいセンター（古宇郡神恵内村大字珊内村字川白96-14）
3. 配布資料：①説明資料(文献調査の結果報告 説明資料)
②説明資料別紙
③よくわかる文献調査結果
④結果概要マップ
4. 参加者数：12人
5. 当日の概要：
 - (1) 主催者あいさつ
 - (2) 文献調査に対する道のお考えや寿都町・神恵内村での様々なご意見についての説明
 - (3) 文献調査報告書の内容についての説明
 - 1部：事業概要説明 地層処分とは・文献調査とは
 - 2部：神恵内村における文献調査の結果
 - 3部：今後の法定プロセスと概要調査について
 - (4) 質疑応答
 - (5) 国からの回答
6. 議事概要：
 - (1) 主催者あいさつ

原子力発電環境整備機構、NUMOの理事を務めております、坂本と申します。

本日は、お忙しい中、「神恵内村における文献調査報告書」の説明会に、ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

ここ神恵内村におきまして、4年にわたりまして、文献調査をさせていただいてまいりました。

この間、神恵内村の皆さまには、特段のお心配りをいただきましたこと、この場をお借りしまして、あらためて、感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

この文献調査、当初の予定より大幅に時間がかかり、皆さまには、ご心配やご迷惑等をおかけしてきたかと思えます。そういった中で、調査の結果を、文献調査報告書として取りまとめることができ、本日、皆さまに、その内容をご報告出来ますこと、あらためまして感謝をいたしている次第でございます。

これまで、神恵内村の皆さまからは、この文献調査について、あるいは私どもの事業等について、様々なご意見や、お考えをお聞かせ、いただいております。

そういった中で、本日の説明をお聞きいただき、また縦覧等によって、報告書の内容を見ていただき、あらためて、様々なお考えや思いを持たれることと思えますので、是非とも、忌憚のないご意見をいただければと思っております。

本日の説明会でございますが、報告書自体、非常にボリュームがあり、また専門用語が多いため、少しでも解りやすく、噛み砕いて説明をさせていただく所存でございます。

長い時間となりますが、お聞きいただきますよう、何卒、よろしく願いいたします。
 - (2) 文献調査に対する道のお考えや寿都町・神恵内村での様々なご意見についての説明
NUMOホームページ掲載の「説明会での配布資料等」⇒「[別紙](#)」を参照

(3) 文献調査報告書の内容についての説明

< 1部：事業概要説明 地層処分とは・文献調査とは >

NUMOホームページ掲載の「説明会での配布資料等」⇒「[神恵内村版](#)」4～27スライドを参照

< 2部：神恵内村における文献調査の結果 >

NUMOホームページ掲載の「説明会での配布資料等」⇒「[神恵内村版](#)」28～70スライドを参照

< 3部：今後の法定プロセスと概要調査について >

NUMOホームページ掲載の「説明会での配布資料等」⇒「[神恵内村版](#)」71～75スライドを参照

(4) 質疑応答

①文献調査報告書の内容関連

Q：仮に珊内川中流の岩脈や熊追山の火山が避ける場所として評価された場合、概要調査の結果は、神恵内村の全域が15kmに入ると思われるが、そのような考え方でよいのか。

A：・まず、珊内川中流の岩脈についてお答えいたします。こちらについては、避けるべき基準の1つ目、マグマが地下から地表近くまで来た跡があるかということで、これに該当するとなっており、この場所は避けましようとなっています。

・一方で、概要調査で特に確認する事項として、避けるべき基準の火山の活動中心であるかどうか、があります。概要調査の結果、火山の活動中心であると判断されれば、こちらから15キロメートルの領域が避ける場所に該当することとなります。

・熊追山の火山につきましても、熊追山が火山の活動中心であるということが概要調査の結果判断されれば、熊追山から15キロメートルの領域が避ける場所に該当するということとなります。

・(会場で説明後に補足) 回答を補足させていただきます。熊追山についてですが、火山の活動中心であるかということに加え、第四紀、約258万年前よりも新しい時代に活動した火山の活動中心であるかということがポイントとなりますので、そのことについて概要調査で確認することとなります。

Q：積丹岳の調査結果によっては、神恵内村全域が良好な地域となる可能性があるのか。

A：概要調査の結果によります。調査では具体的には積丹岳の活動中心は、空中物理探査や地表踏査、そういったことを組み合わせて確認します。

(5) 国からの回答（質問票は対象無しのため挨拶）

・本日はご参加いただきありがとうございます。神恵内村の皆様には、文献調査を受け入れていただき、また対話の場等を通じこの問題に向き合っていただき本当にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

・この最終処分の必要性や重要性、それについてご説明させていただければと思います。我が国は、1966年からこの原子力発電を利用してきて、その恩恵も受けて経済成長も成し遂げてきたと思っています。

・最終処分の問題は原子力発電を利用してきた我々の世代、現世代が必ず解決しなければならない国家的課題であると思っています。将来、より良い処分方法が生み出される可能性もあるかもしれませんが、不確かな未来に期待して、今の世代が何もしないということは許されることではない。将来世代に対する責任を果たすことにはならないと思っていますので、今の段階では地層処分というのが最も実現可能な方法として考えておりますし、国際的にもこの方法だということで取組が進められているところですので、我々の世代の責任として、地層処分に向けて処分地選定を進めていくということは極めて重要であろうと思っています。

・そうした思い、高橋神恵内村長からも様々な場面でご紹介ご指摘いただいているところであり、今後の法定説明会や、全国でも様々な説明会をやってまいります、その中でも改めてこうし

た最終処分の必要性を訴えかけていきたいと思ひます。

- ・寿都の説明会で出てきた質問にありましたが、国策としてやるのだから、もっとその必要性について国がしっかりと説明すべきである、手を挙げた町が悪者になるようなことがあってはならない、マスコミの報道も少し偏っているのではないか、というご意見もいただきました。我々の説明がまだまだ足りてないところを実感するとともに、受け入れていただいた町の方々に様々なご負担をかけていることに改めて申し訳なく思ひています。皆様の懸念が払拭できるように、これからしっかりと説明をしてまいりたいと思ひていますので、引き続き本件についてのご理解を頂戴できればと思ひています。

以 上

7 会場でいただいた質問票について

(1) いただいた質問票とその回答

① 文献調査報告書の内容関連
Q 1 : 仮に珊内川中流の岩脈や熊追山の火山が避ける場所として評価された場合（概要調査の結果）は、神恵内村の全域が15kmに入ると思われるがそのような考え方で良いのか？
A 1 : 【新たに半径15kmの範囲が避ける場所となります】 ・珊内川中流につきましては第四紀火山由来のマグマが地下から地表近くまで来た跡が確認されているため避ける場所としています。 ・また、概要調査で珊内川中流の岩脈が第四紀火山の活動中心であることが確認された場合は、そこから新たに半径15kmの範囲が避ける場所になります。熊追山が第四紀の火山であり、活動中心であった場合も、そこから新たに半径15kmの範囲が避ける場所となります。
Q 2 : 積丹岳の調査結果によっては神恵内村全域が良好な地点となる可能性があるのか
A 2 : 【概要調査の結果によります】 積丹岳の活動中心は空中物理探査や地表踏査探査等を組み合わせて確認します。

※ 会場で質問票にご記入いただいたご質問やご意見は、誤字や脱字も含めて可能な限りそのまま転記を行い、再現しています。

以 上